

マダガスカル国農業・農村開発分野におけるジェンダー関連情報

1. ジェンダー関連政策・制度

<ジェンダー政策および制度>

- 2000年、都市及び地方でのジェンダー格差を削減し、男女間のバランスのとれた開発を目指すため、「女性の進出に係る国家政策」(The National Policy of Women Promotion 2000-2015 : PNPf) が策定された。同政策は次の5点に重点を置いている：1) 女性(特に農村居住者を含めた最も脆弱な女性)の経済状況の改善や収入向上；2) 女性の教育・職業訓練レベルの向上；3) 健康(特に母子保健)に係る女性の権利促進；4) 政策決定プロセスにおける女性の参画促進；5) 男女間のバランスのとれた開発を促進する組織体制の構築(出典1)
- 上記PNPFを実施するために、「ジェンダーと開発に係る国家計画」(Gender and Development National Plan 2004-2008 : PANAGED) が策定され、2004年から2008年にかけて組織、事業、開発プログラムでのジェンダー主流化を目指した。同国家計画は、(1) ジェンダー主流化、(2) 女性の経済状況向上、(3) 女性の法的・社会的地位の向上、の3点を含んでいる。(出典1)
- モザンビーク政府が2006年に策定した「行動計画2007-2012」では、目標の一つとして「ジェンダー平等と女性のエンパワーメント」を掲げており、同目標に係る戦略として次のことを挙げている：1) 開発におけるジェンダー主流化；2) 女性の経済的機会へのアクセスの向上；3) 中央、地域、地方政府のシニアポジションにおける女性の人数の増加；4) 女性への暴力の減少；5) 女性に否定的な伝統的慣習の排除；6) 生命の源としての女性への敬意；7) 女性の置かれた状況を改善する政府機関の設立。(出典2)

出典

1. JICA (2005) “Madagascar: Country Gender Profile”,
[http://gwweb.jica.go.jp/km/FSubject1501.nsf/03a114c1448e2ca449256f2b003e6f57/8d7eed7eec30a45c49257f85001b0402/\\$FILE/ATT88ZNW.pdf/%E8%8B%B1%E8%AA%9E%E7%89%88%202005.pdf](http://gwweb.jica.go.jp/km/FSubject1501.nsf/03a114c1448e2ca449256f2b003e6f57/8d7eed7eec30a45c49257f85001b0402/$FILE/ATT88ZNW.pdf/%E8%8B%B1%E8%AA%9E%E7%89%88%202005.pdf)
2. Government of Madagascar (2007) “Plan d’Action Madagascar 2007-2012”,
http://www.google.co.jp/url?sa=t&rct=j&q=&esrc=s&source=web&cd=1&cad=rja&uact=8&ved=0ahUKEWiC2Lmd87zMAhXhdqYKHbMzBmEQFggcMAA&url=http%3A%2F%2Fplanipolis.iiep.unesco.org%2Fupload%2FMadagascar%2FPRSP%2FMadagascar_PRSP_Francais.pdf&usg=AFQjCNHAH8FeJs0Kjwi1FdrjvkxA0BK0Jg&sig2=pDZKtM6OSRco-QD7LxCWXw

作成日： 2016年4月15日

<農業・農村開発分野：政策および制度におけるジェンダー主流化の現状>

- 2001年に策定された Environmental Plan には、各プロジェクトや事業にジェンダー主流化の観点を含めるよう求めている。(出典1)
- モザンビーク政府が2006年に策定した「行動計画2007-2012」では、改革イニシアチブの一つとして「緑の革命の始動」を掲げており、コミットメントの一つとして「ダイナミックな農村開発及び効果的な貧困削減」を挙げている。ジェンダーに直接は言及していないが、土地制度、金融へのアクセス、市場情報へのアクセス、農業の多様化、アグロビジネスの促進などに触れている。(出典2)

出典	<p>1. JICA (2005) “Madagascar: Country Gender Profile”, http://gwweb.jica.go.jp/km/FSubject1501.nsf/03a114c1448e2ca449256f2b003e6f57/8d7eed7ecc30a45c49257f85001b0402/\$FILE/ATT88ZNW.pdf/%E8%8B%B1%E8%AA%9E%E7%89%88%202005.pdf</p> <p>2. Government of Madagascar (2007) “Plan d’Action Madagascar 2007-2012”, http://www.google.co.jp/url?sa=t&rct=j&q=&esrc=s&source=web&cd=1&cad=rja&uact=8&ved=0ahUKEwiC2Lmd87zMAhXhdqYKHbMzBmEQFggcMAA&url=http%3A%2F%2Fplanipolis.iiep.unesco.org%2Fupload%2FMadagascar%2FPRSP%2FMadagascar_PRSP_Francais.pdf&usq=AFOjCNHAH8FeJs0Kjwi1FdrjvKxA0BK0Jg&sig2=pDZKtM6OSRco-QD7LxCWXw</p>
----	---

作成日：	2016年4月15日
------	------------

<農業・農村開発分野：ジェンダー主流化に係る関係機関>

機関名	備考（役職名など）
Ministry of Population, Social Protection and Leisure の General Department of Gender promotion, family and leisure	ジェンダーに関する課題を取り扱っている。

出典	<p>1. JICA (2005) “Madagascar: Country Gender Profile”, http://gwweb.jica.go.jp/km/FSubject1501.nsf/03a114c1448e2ca449256f2b003e6f57/8d7eed7ecc30a45c49257f85001b0402/\$FILE/ATT88ZNW.pdf/%E8%8B%B1%E8%AA%9E%E7%89%88%202005.pdf</p>
----	--

作成日：	2016年4月15日
------	------------

2. **農業・農村開発**分野：JICA の支援状況

<概要>

日本のマダガスカルに対する経済協力は、1965年度に技術協力等を開始して以来、無償資金協力及び円借款を加え、インフラ、農業・漁業、教育、保険、水と衛生等、幅広い分野における開発に貢献してきた。しかし、2009年3月に憲法手続きに則らない形で暫定政府が樹立されたことなどから、日本は新規二国間援助を停止した。その後、民主的な大統領選挙を経て2014年4月に新政権が発足したことから、二国間援助を再開したが、基本方針はまだ明確に定まっていない。現状では、マダガスカル政府により策定された同国開発方針（国家開発計画）を踏まえた経済協力の展開を基調としつつ、農業や経済インフラ整備、基礎生活等の各開発分野において、日本の優位性を活かした援助を検討していく予定である。（出典1）近年、ジェンダー分類されたJICAの農業・農村開発案件では、「中央高地コメ生産性向上プロジェクト」がある。（出典2）

出典	<p>1. 外務省（2015）『国別データブック』、http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/files/000142308.pdf</p> <p>『国別情報』、http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/region/africa/madagascar/index.html</p> <p>2. JICA（2008～2013）『ジェンダー主流化推進年次報告書』、 http://gwweb.jica.go.jp/km/FSubject1501.nsf/03a114c1448e2ca449256f2b003e6f57/235082f59d8cf80c4925765700254d48?OpenDocument</p>
----	---

作成日： 2016年4月15日

<案件例>

案件名（協力年度）	中央高地コメ生産性向上プロジェクト（2008年度～）
<p>本案件では、マダガスカル国中央高地に位置する5県を対象とし、灌漑稲作、天水稲作及び高冷地稲作という中央高地における主要な3種の稲作形態に適した品種に関する生産技術パッケージを開発し、種子増殖・配布体制を改善することを目指した。加えて、コメ生産に関連する機関の連携を強化し、技術パッケージに関する教材等を整備して普及に取り組み、中央高地におけるコメ生産性の向上を目的としている。本案件活動では、稲作における女性の役割についてベースライン調査で詳細を把握し、技術パッケージ開発において農民から意見を聴取する際には、女性農民からも意見を聴取するよう留意する。技術パッケージ普及の際には、女性農民も平等に機会が得られるよう配慮するとともに、女性農民が参加しやすい環境作り（女性が発言しやすい雰囲気作りや託児サービスの提供等）を検討する。（出典1）</p>	
出	1. JICA、『事業事前評価表』、 http://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2008_0700698_1_s.pdf

典		作成日： 2016年4月15日
---	--	-----------------

<案件リスト>

No.	協力年度		事業形態	案件名	ジェンダー分類*1	ジェンダー視点
	開始	終了				
1	2008	2015	技協	中央高地コメ生産性向上プロジェクト	GI(S)	稲作における女性の役割についてベースライン調査で詳細を把握し、技術パッケージ開発において農民から意見を聴取する際には、女性農民からも意見を聴取するよう留意する。技術パッケージ普及の際には、女性農民も平等に機会が得られるよう配慮するとともに、女性農民が参加しやすい環境作り（女性が発言しやすい雰囲気作りや託児サービスの提供等）を検討する。
出典	1. JICA（2008～2013）『ジェンダー主流化推進年次報告書』、 http://gwweb.jica.go.jp/km/FSubject1501.nsf/03a114c1448e2ca449256f2b003e6f57/235082f59d8cf80c4925765700254d48?OpenDocument					作成日： 2016年4月15日

*1ジェンダー分類：GI＝ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件（Gender Informed）

GI(P)＝ジェンダー平等政策・制度支援案件、女性を主な裨益対象とする案件（Gender Informed (Principal)）

GI(S)＝ジェンダー活動統合案件（Gender Informed (Significant)）

3. 農業・農村開発分野：他ドナーの支援状況

ドナー (1)	世界銀行 (World Bank)		
支援概要	<p>予測不可能で深刻な洪水や干ばつによって、マダガスカル国の農業生産や人々の生活は頻繁に悪影響を受けている。そんな中、農業関係者の間で最も重要視されていることは、降雨、洪水、干ばつといった不安定な気候変動に対する国のレジリエンスを高めることである。マダガスカル国の人口の約 80%は、直接的或いは間接的に農業に関わっている。労働人口の殆どが農業関連の仕事に携わっており、都市・農村共に、殆どの食糧は国内の農業で賄われている。同国では、農業人口の約 53%が女性であり、作物生産の約 80%、及び農産活動の約 90%を担っている。かかる状況下で、世界銀行はマダガスカル国の国家開発計画や Agricultural Sector Policy といった新しい国家・セクター開発戦略を支援するプロジェクトを実施する。(出典 1)</p>		
案件例	<p><i>Agriculture Rural Growth and Land Management Project (2016-2021)</i></p> <p>本プロジェクトの目的は、農家の土地所有権保護や市場アクセスの改善と、災害に対する迅速で効果的な対応策の提供である。マダガスカル国では、女性は土地所有権をもつ機会が男性と比べて圧倒的に少ないため、本プロジェクトではより多くの女性が土地所有権を申請できるよう注意を払う。また、本プロジェクトは、実施の際に浮上する課題を男女別に抽出する。例えば、商品のバリューチェーンに対してジェンダー分析を行うことで重要なジェンダー・ギャップを特定し、最適な対策を検討する。(出典 1)</p>		
出典	<p>1. World Bank (2016) “Agriculture Rural Growth and Land Management Project”, http://www-wds.worldbank.org/external/default/WDSContentServer/WDSP/T_MNA/2016/03/06/090224b0841daac0/1_0/Rendered/PDF/Madagascar000A0d0Management0Project.pdf</p>		
<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td style="padding: 2px;">作成日：</td> <td style="padding: 2px;">2016年4月21日</td> </tr> </table>		作成日：	2016年4月21日
作成日：	2016年4月21日		

4. SDG: ジェンダーと農業・農村開発に関する目標およびターゲット

目標	ターゲット
<p>2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する</p>	<p>2.1 2030年までに、飢餓を撲滅し、すべての人々、特に貧困層及び幼児を含む脆弱な立場にある人々が一年中安全かつ栄養のある食料を十分得られるようにする。</p> <p>2.2 5歳未満の子どもの発育阻害や消耗性疾患について国際的に合意されたターゲットを2025年までに達成するなど、2030年までにあらゆる形態の栄養不良を解消し、若年女子、妊婦・授乳婦及び高齢者の栄養ニーズへの対処を行う。</p> <p>2.3 2030年までに、土地、その他の生産資源や、投入財、知識、金融サービス、市場及び高付加価値化や非農業雇用の機会への確実かつ平等なアクセスの確保などを通じて、女性、先住民、家族農家、牧畜民及び漁業者をはじめとする小規模食料生産者の農業生産性及び所得を倍増させる。</p> <p>2.4 2030年までに、生産性を向上させ、生産量を増やし、生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上させ、漸進的に土地と土壌の質を改善させるような、持続可能な食料生産システムを確保し、強靱（レジリエント）な農業を実践する。</p> <p>2.5 2020年までに、国、地域及び国際レベルで適正に管理及び多様化された種子・植物バンクなども通じて、種子、栽培植物、飼育・家畜化された動物及びこれらの近縁野生種の遺伝的多様性を維持し、国際的合意に基づき、遺伝資源及びこれに関連する伝統的な知識へのアクセス及びその利用から生じる利益の公正かつ衡平な配分を促進する。</p> <p>2.a 開発途上国、特に後発開発途上国における農業生産能力向上のために、国際協力の強化などを通じて、農村インフラ、農業研究・普及サービス、技術開発及び植物・家畜のジーン・バンクへの投資の拡大を図る。</p>

	<p>2.b ドーハ開発ラウンドの決議に従い、すべての形態の農産物輸出補助金及び同等の効果を持つすべての輸出措置の並行的撤廃などを通じて、世界の農産物市場における貿易制限や歪みを是正及び防止する。</p> <p>2.c 食料価格の極端な変動に歯止めをかけるため、食料市場及びデリバティブ市場の適正な機能を確保するための措置を講じ、食料備蓄などの市場情報への適時のアクセスを容易にする。</p>
5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女兒の能力強化を行う	5.a 女性に対し、経済的資源に対する同等の権利、ならびに各国法に従い、オーナーシップ及び土地その他の財産、金融サービス、相続財産、天然資源に対するアクセスを与えるための改革に着手する。
9. 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	9.1 すべての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラを開発する。

5. 参考情報

ジェンダーと 農業・農村開発 （JICA 内の執務参考資料、他ドナーの資料）	
JICA、『JICA 事業におけるジェンダー主流化のための手引き【農業・農村開発】』	ジェンダー平等・貧困削減室にて入手可能
ADB, “Gender Checklist: Agriculture”	http://www.adb.org/publications/gender-checklist-agriculture
AfDB (2016) “Gender productivity differentials among smallholder farmers in Africa: A cross-country comparison”	http://www.afdb.org/en/documents/document/working-paper-231-gender-productivity-differentials-among-smallholder-farmers-in-africa-a-cross-country-comparison-86199/
FAO (2013) “Understanding and integrating gender issues into livestock projects and programmes: A	http://www.fao.org/docrep/018/i3216e/i3216e.pdf

checklist for practitioners”	
FAO, “The Agri-Gender Statistics Toolkit”	http://www.fao.org/gender/agrigender/agri-gender-toolkit/en/
FAO (2010) “Women in Agriculture Closing the gender gap for development”	http://www.fao.org/publications/sofa/2010-11/en/
FAO (2015) “Social protection and agriculture: breaking the cycle of rural poverty”	http://www.fao.org/publications/sofa/2015/en/
World Bank (2012) “Gender Issues in Monitoring and Evaluation in Agriculture: A Toolkit”	http://documents.worldbank.org/curated/en/2012/11/16988964/gender-issues-monitoring-evaluation-in-agriculture
World Bank, “Gender in Agriculture Learning Module”	http://web.worldbank.org/WBSITE/EXTERNAL/TOPICS/EXTGENDER/0,,contentMDK:20192985~menuPK:489246~pagePK:148956~piPK:216618~theSitePK:336868,00.html
World Bank (2008) “Gender in Agriculture Source Book”	http://documents.worldbank.org/curated/en/2008/10/9953789/gender-agriculture-sourcebook
UNDP (2012) “Training Module 4: Gender, agriculture and food security”	http://gest.unu.edu/static/files/tm4_africa_gender-climatechange-and-food-security.pdf
マダガスカルにおけるジェンダー状況	
JICA (2005) “Country Gender Profile (Madagascar)”	http://gwweb.jica.go.jp/km/FSubject1501.nsf/03a114c1448e2ca449256f2b003e6f57/8d7eed7ecc30a45c49257f85001b0402/\$FILE/ATT88ZNW.pdf/%E8%8B%B1%E8%AA%9E%E7%89%88%202005.pdf
OECD, “Madagascar Country Gender Profile”	http://www.genderindex.org/sites/default/files/datasheets/MG.pdf
マダガスカルの農業・農村開発分野における調査報告書、良事例など	
SACAU (2013) “Gender In Agriculture - Synthesis Report For Madagascar, Malawi, South Africa, Zambia And Zimbabwe”	http://www.sfoap.net/fileadmin/user_upload/sfoap/KB/docs/SACAU-GENDER%20SYNTHESIS%20REPORT.pdf

作成日：	2016年4月21日
------	------------

6. その他、現地調査で得られた情報

--

作成日：	
------	--